

IBMにおけるイノベーション創出の仕組み

丸山 宏
日本アイ・ビー・エム株式会社
執行役員 スマーター・プラネット技術推進担当

IBM

Innovate America 「パルミサーノ・レポート」



IBM Working Group Web Portal Home About Us Contact Us

Council on Competitiveness

Initiatives Data Central Newsroom Publications Calendar

National Innovation Initiative
Final Report: Innovate America

American business, university, and labor leaders collaborating for economic prosperity.

Data Central

THE U.S. SAVINGS RATE WAS LOW COMPARED TO OTHER ECONOMIES

HOT TOPICS

- ▶ NII Co-Chairs Share Innovation Vision with BusinessWeek
- ▶ MIT Emerging Technology Conference: Council Leaders Expect Innovation Agenda
- ▶ Meeting The Task of the 21st Century
- ▶ Council On Competitiveness National Innovation Report
- ▶ Important National Innovation Initiative Findings to be Discussed at Annual High Performance Computing Users Conference

NII Working Group Web Portal

<http://www.compete.org/>

2004年12月、IBMのパルミサーノ会長が中心となって、米国競争力協議会が政策提言

米国経済の産業競争力低下への強い危機感

イノベーションこそ唯一最大の原動力

1. 人材資源の確保

2. 投資による支援

3. インフラ整備

イノベーションとは？

Innovation is a societal -- not a technological -- phenomenon, that arises from the intersection of invention and insight.

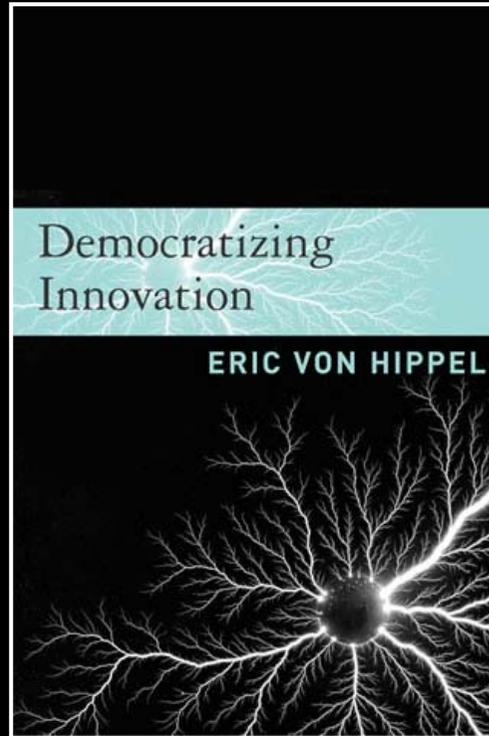
Sam Palmisano, CEO, IBM Corporation

イノベーションのあり方の変化



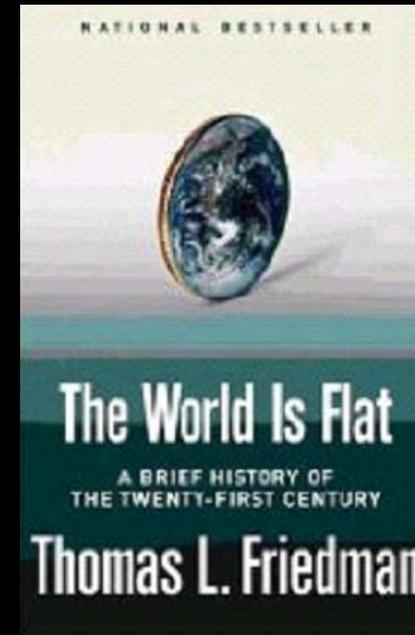
Open

ISBN-13: 978-1422102831



Collaborative

ISBN-13: 978-0262720472



Global

ISBN-13: 978-0141034898

IBMにおける、イノベーションを生み出すための仕組み

innovationjam™

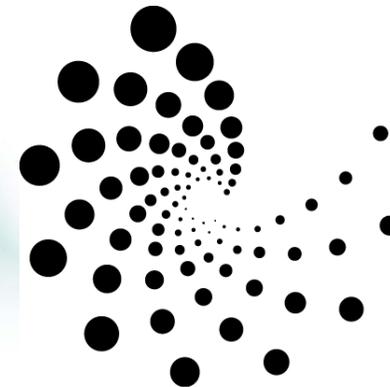
- コミュニティの知識を利用してイノベーションのためのアイデアを生み出す
- 2001年～

- オープンに
- 協業して
- 世界規模で

Global Technology Outlook



- 3～10年先に、業界にとって重要な新興技術のトレンドを認識する
- IBMの技術戦略に直接影響を与える
- 1985年～



Global Innovation Outlook

- イノベーション、ビジネス変革、社会的な進歩について話し合いを始める
- 専門家たちによる世界的なエコシステムを超えた協業
- 2004年～

Global Technology Outlook

- ◆ ビジネスに破壊的な変化をもたらす、3～10年後の重要な技術的トレンドを早い段階で捉える
- ◆ 技術が、お客様、ビジネス、業界にとって、どのような影響を与えられるかについて考察する

➔ GTOは、IBMのビジネス戦略と技術戦略に直接影響を与えるものです。



- ◆ 将来の予測は決して簡単なことではありません...

“コンピューターは将来、おそらく1.5トン以上にはならないだろう”

Popular Mechanics誌、1949

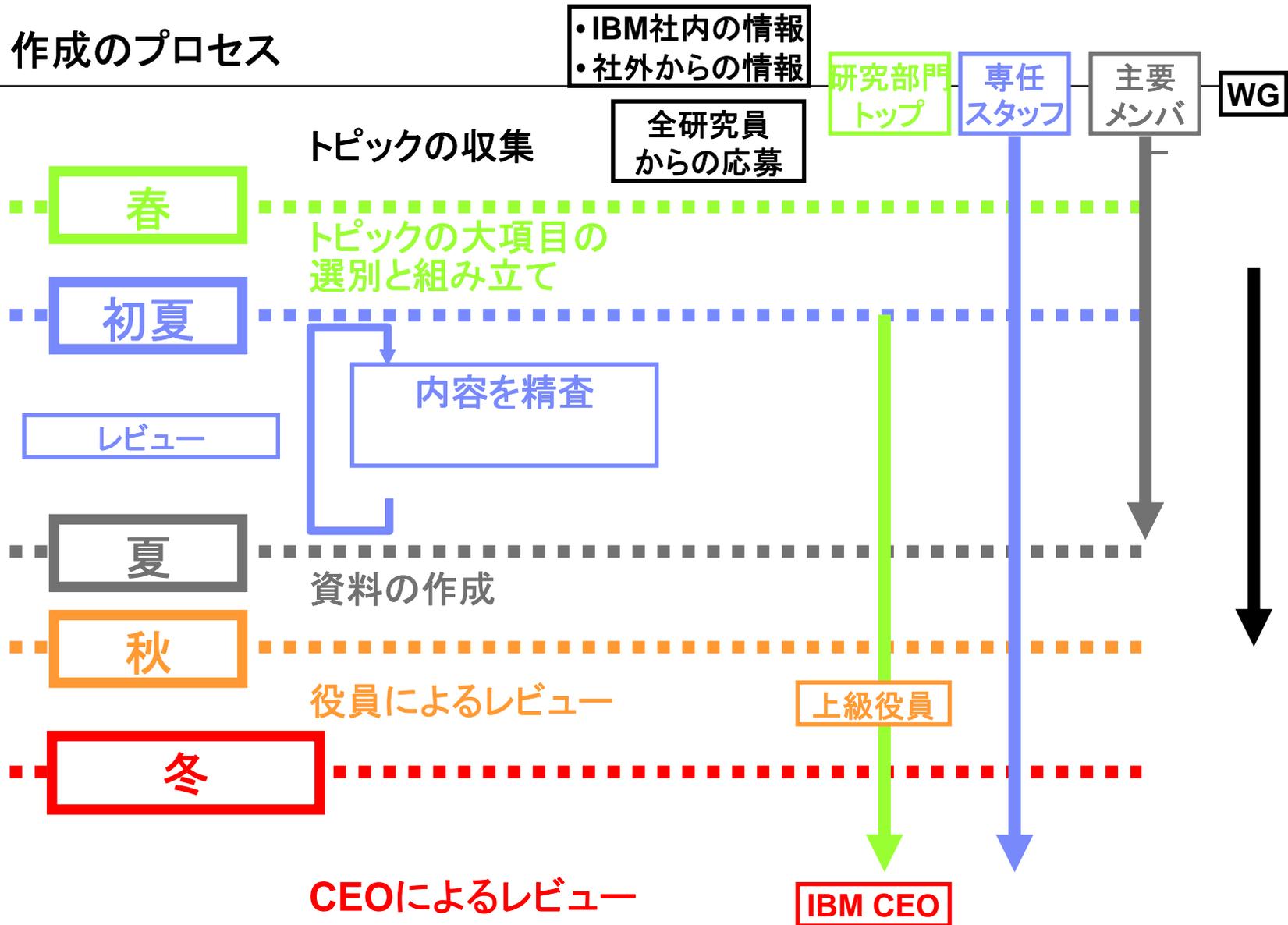
“誰もが自宅にコンピューターを欲しがるということはないはず”

ケン・オルセン、DEC創始者、1977

“640KBで誰もが十分なはずだ”

ビル・ゲイツ、1981

GTO 作成のプロセス



Global Innovation Outlook



IBM Global Innovation Outlook 1.0

- 21世紀のイノベーションはどのようなものになるかについて、国際的な議論
 - 10回の”Deep Dive”セッション, 延べ24日間
 - ニューヨーク、上海、ワシントン、チューリッヒ
- 参加者 (24カ国から)
 - 100人以上のIBM研究者(東京基礎研究所2名)、コンサルタント、SME
 - 109名の「エコ・システム」参加者 – 日本からは、経済産業省、東京大学、ソニーから参加
 - 25名の世界的な”Thought Leaders”

2008年のGlobal Innovation Outlookのトピックの一つは「セキュリティと社会」でした



- **分散型セキュリティ：ネットワーク効果**

1人の人間が与える損害は、歴史上のどの時代よりもはるかに大きくなっています
- **企業と政府：新たな役割**

真にグローバルな社会においては、地域および国の法執行機関にとって包括的な安全保障がますます困難になっています。
- **インセンティブ：最善の行動**

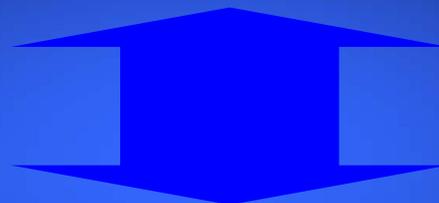
安易なパスワードや緩いセキュリティといった悪習によって自らだけでなく、他者をも危険な状況に陥れています。
- **プライバシーとID：理解を深める**

データ収集、ID、および匿名性に対する考え方が変わってきています。

6回の「Deep Dive」を通して、セキュリティのネットワーク効果という知見が得られました



つながることによって増大する脅威



つながることによって効果的になる(できる)対策



innovationjam™ 2008

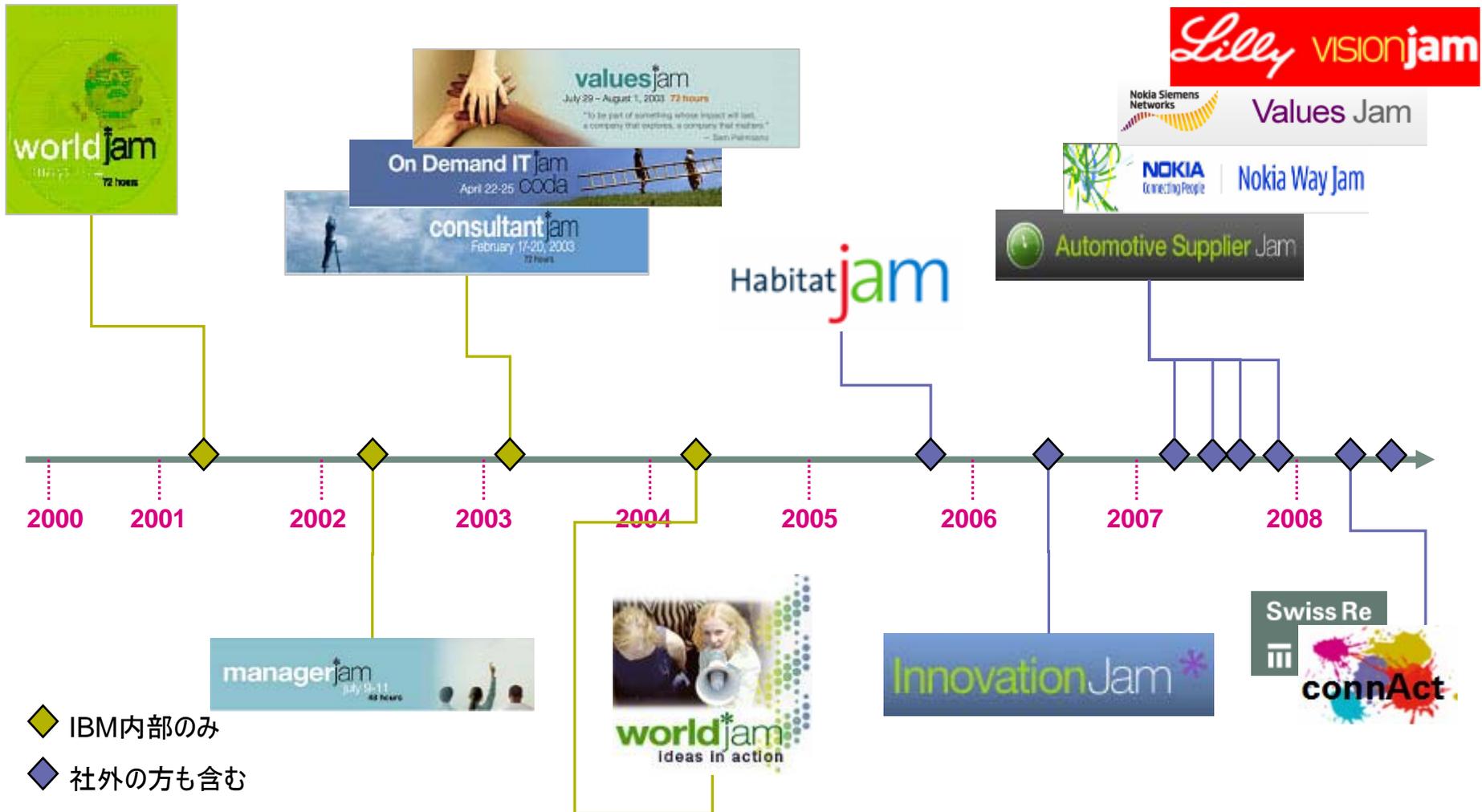
イノベーション・ジャム

innovationjam™

- コミュニティの知識を利用して、イノベーションのためのアイデアを生み出す
- **2001年～**

innovationjam™ 2008

2001年から13回にわたってJamを実施しています
(IBM社内で6回, 社外の方と共に7回)



InnovationJam2008では、CEO Study 2008で浮かび上がってきた4つのトピックについて議論しました



変化するために構成された企業

変革、破壊的、そしてイノベティブなビジネスモデル



顧客をビジネスパートナーに

「新しい顧客層」



世界規模での統合

大企業と小さな企業の世界規模での統合



地球と人々

持続可能な成長に向けて



72時間で、世界中の有識者から約30,000の意見

Web2.0技術を用いて顧客を製品開発の過程に取り込む



デザイナーや顧客との深い協業を通じて、製品デザインの質を上げられないだろうか



出典: 日本産業デザイン振興会 <http://www.g-mark.org/>

「製品に新たな価値を付加するためには、利用者に参加してもらうことが必要だ」



現在のPLM,SCM,HCMなど大規模アプリケーションの上にWeb2.0の仕組みを載せることはできないだろうか。

- 3D CADで作られた製品を仮想空間上で見たり、使ったり、その周りを歩いたりしてもらう

Autodesk

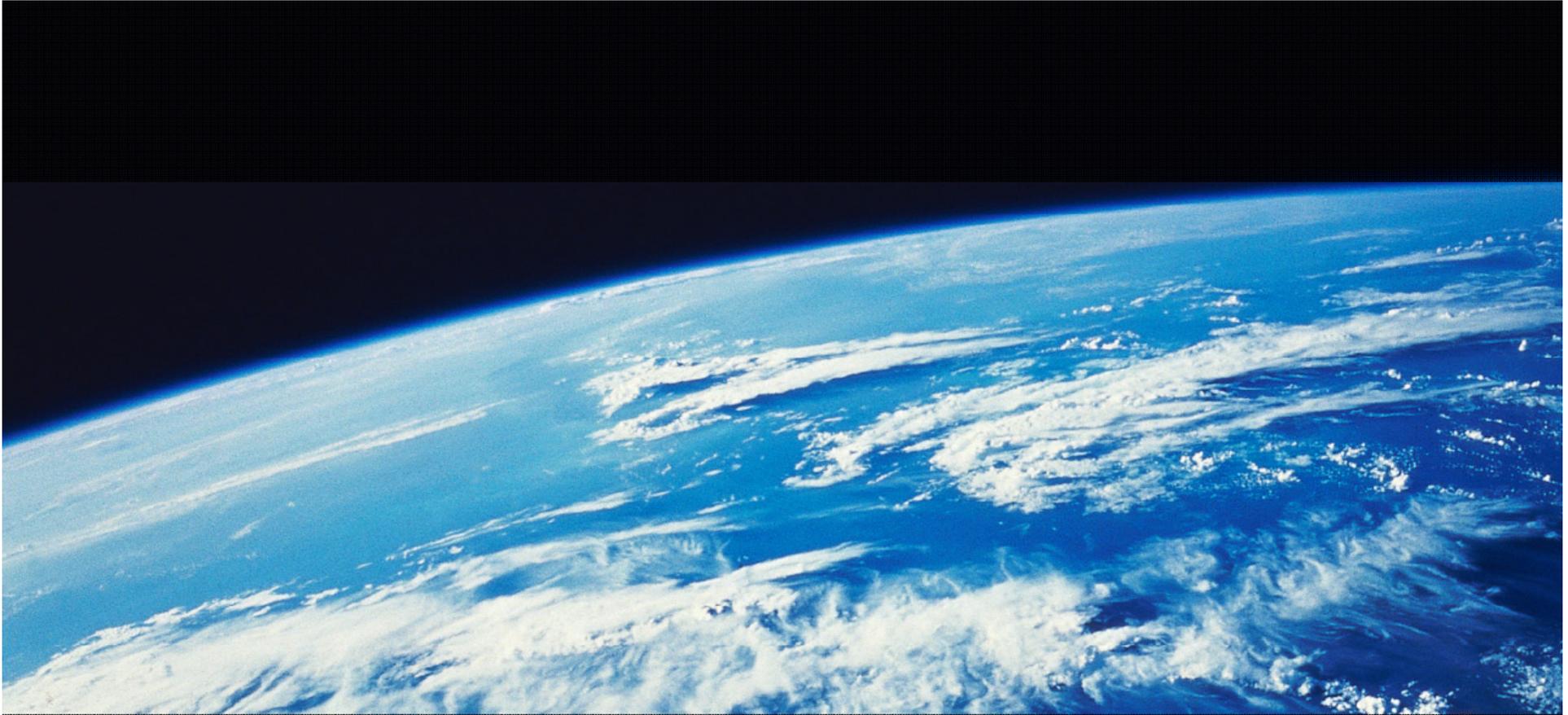
Dassault
Systemes

Lotus

真のJamの価値は、30,000件の投稿の中から得られる「大衆の知恵」にあります

- 様々なアイデアが、様々な立場の参加者から、それぞれ独立して、繰り返し、議論されました
 - 協業の重要性
 - 仮想空間上での共同作業
 - 法制度との協調
 - オポチュニティーとしてのCSR
 - ...
- さらに、これらのアイデアを実現するために必要なことは何かについて、共通の知見が得られる可能性があります
 - 標準化の重要性、「複雑なシステム」に関する研究、...
- そして、事後分析を通じて、これらの中から重要な知見が得られました





Thank you!

IBM